

| | | | |
|-----|---------------|----------|------------------|
| 単位数 | 3 | 学科・学年・学級 | 普通科・2学年・全組 |
| 教科書 | 現代高等保健体育(大修館) | 副教材等 | アクティビズムスポーツ(大修館) |

1 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るために資質・能力を身に付けることを目指す。

2 学習の計画

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|------|----|---------------------|----------------------------|--|--|
| 第1学期 | 4 | 体作り運動 球技（ネット型） | ・体ほぐしの運動 バドミントン | 心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすることができるようになります。自己の能力に応じてバドミントンの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになります。また、互いに協力して練習やゲームができるようになるとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようになります | 種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施します。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。 |
| | 5 | | | | |
| | 6 | 陸上競技 体育理論 | 跳躍・投擲 | 跳躍・投擲種目を通して、自己や仲間の動きを分析してよい点や修正点を指摘し合ったり、自己や仲間の新たな課題を発見し解決する力を身につけます。運動やスポーツを特徴付けている技術は技能で發揮されることを学び、それぞれの技能の形や特徴を学習します。 | 種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施。 |
| | 7 | | 技能と体力、技術と戦術 | | 筆記試験・レポートを課します。 |
| 学期 | 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
| 第2学期 | 9 | 球技（ネット型） | バドミントン | チームの課題や自己の能力に応じてバレーボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになります。また、互いに協力して練習やゲームができるようになるとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようになります。 | 種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施。また、毎時間の授業への取り組みが評価となります。 |
| | 10 | 武道 | | 相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、攻防を展開することができるよう学習します。 | |
| | 11 | 球技（ベースボール型） 体育理論 | ソフトボール 運動やスポーツの上達過程 | チームの課題や自己の能力に応じてソフトボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになります。運動やスポーツの技能の上達には段階があることを学習します。これらの段階に応じて、自己の課題を設定することや適した練習方法の設定が必要なことを学びます。 | 種目に応じて、スキルテスト、小テスト等を実施します。筆記試験・レポートを課します。 |
| 学期 | 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
| 第3学期 | 1 | 陸上競技 | 長距離走 | 特定の長い距離をより速く走ることで、心肺機能・筋持久力を高めると同時に、自己の能力を最大限に発揮する態度と強い意志を養います。 | 長距離走は毎時間の授業への取り組みが評価となります。 |
| | 2 | 体育理論 | 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保 | 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について学びます。また、自己の能力に応じた体力トレーニングの取り組み方や負荷の設定の仕方を学習します。 | 筆記試験・レポートを課します。 |
| | 3 | | | | |

3 評価の観点

| | |
|---------------|--|
| 知識・技能 | 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。 |

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- ・服装は学校指定の体操服を着用してください。夏季（6月～9月）は、Tシャツ、ハーフパンツとなります。
- ・体育館、小体育館で行うときは指定体育館シューズを着用してください。格技館、セミナーハウスには素足であがってください。
- ・持ち物にはすべて記名をしてください。貸借は禁止です。
- ・授業はチャイムと同時に始めますので、授業場所へは休み時間のうちに移動を完了してください。また、貴重品は施錠したロッカーでしっかり管理してください。
- ・見学者は授業前に担当者に申し出て、指示を受けてください。原則として、見学者も体操服に着替えてください。
- ・授業の用具は原則として体育科のものを使用します。使用には安全を心がけ、大切に使用してください。
- ・積極的に参加することが大原則。自分の体調を管理して年間を通して自主的・積極的に活動しましょう。